

チャレンジ通信

埼玉県議会自由民主党議員団

なかやしき 慎一

霜月に思う



10月18日 安倍晋三内閣総理大臣応援に来る(上尾駅西口)

平成29年度9月定例会県議会は、突然の衆議院解散により、慌ただしい空気の中での議会となりました。とは言え、今議会も自民党県議団の提案により、「自転車利用の促進に関する条例」の一部改正を行ったり、これも自民党県議団の議員提案で今年度中の制定を目指している「埼玉県小規模企業振興基本条例(仮称)」のパブリックコメント徴収に向けての準備を進めたり、同様に自民党県議団の提案により制定を目指している「埼玉県犯罪被害者救済に関する条例(仮称)」のP

「T会合に参加したりと充実した議会でもありました。」

討議資料



発行者 埼玉県議会議員 中屋数慎一
〒365-0039 鴻巣市東3-11-18-103号
TEL 048-541-8110 FAX 048-541-0256



そうした中で、議会中の10日に第48回衆議院議員総選挙が公示されました。

私が自民党県議団に所属してから2度目の総選挙、終わってみれば埼玉県内も自民党の大勝のような結果になりましたが、内容的には決してそんなことはなく、私は有権者の皆さんの消極的賛同が結果として自民党を勝たせる結果になったのでは?と考えています。解散直前のいくつかの新政設立による混沌や各政党の政策の見え辛さは有権者の皆さんを悩ませたに違いありません。昨日まで憲法改正や安全保障政策に大反対を唱えていた人々が、政党を動く賛成に回る。いったいこれをどう理解しろと言うのか、選挙後の今になっても私には理解できない部分があります。わたしは、今回の総選挙に絡んだ混沌が収斂され、有権者の皆さんにとって分かりやすい形になっていくように強く念願しています。国会と野党の皆さん宜しくお祈りします。

自民党県議団が提出した条例可決
来年4月から義務化

県議会9月定例会

安心 安全めざし補正予算を計上

一般会計 / 44億7,716万7千円
【補正後累計 / 1兆8,675億913万4千円】

自転車の安全な利用の促進に関する条例

一部改正の概要

施行期日=平成30年4月1日

■自転車損害保険等への加入の義務付け(対象)

- ①自転車利用者(利用者が未成年の場合は保護者)
- ②事業活動に自転車を利用する事業者
- ③自転車の貸付業者

■自転車保険に関する情報提供

- ①自転車販売業者
 - *自転車販売時に購入者に対し、保険加入の有無の確認に努める。
 - *加入確認ができない場合は、保険に関する情報提供に努める。
- ②学校
 - *自転車通学者に対し、保険加入の有無の確認に努める。
 - *加入確認ができない場合は、保険に関する情報提供に努める。
- ③県
 - *関係団体と連携し、自転車損害保険に関する情報提供等を行う。



●補正予算の内訳

- ①体育館の木製床板の改修 6,596万円
- ②保育士等キャリアアップ研修の実施 4,971万5千円
- ③歩道整備・交差点改良などの推進 15億3,216万9千円
- ④衆議院議員総選挙等の管理執行に係る経費 28億2,932万3千円 (国庫支出金)

県議会9月定例会は9月22日から10月13日にかけて開催され、補正予算(一般会計:44億7,716万7千円)をはじめ16件の議案等を議決し終了しました。特に歩道整備・交差点改良については国庫補助の増加もあり大きな金額となりました。

また自民党議員団が提案した、自転車保険の義務化を定める「自転車の安全な利用の促進に関する条例」の一部改正も採択しました。これによって、自転車保険の加入が進むとともに、自転車保険の内容についても正しい情報提供が行われ、自転車事故に係る被害者の救済に役立つものと確信しています。

体育館の木製床板改修

背景

全国で、体育館の床板がはく離し、腹部に刺さり重傷を負うなどの事故が発生

文部科学省通知及び対応状況

県立学校等の体育館、剣道場など436施設の対応

通知の内容	対応状況
適切な清掃、定期点検	県立学校等へ通知
不具合箇所の応急処置	対応済み
長期的改修計画に基づく改修	年度内に計画策定 平成30年度から改修

事業概要

内容

蔵高校体育館など**12**施設について、計画の策定を待つことなく、年度内に改修予算額：**6,596**万円

改修方法

・床板を削り、ウレタン塗装 ・必要に応じ、床板の張替

選定理由

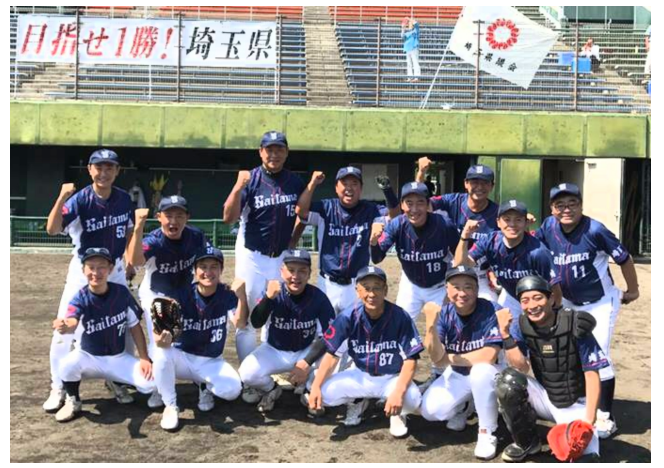
次の2項目により早期対応が必要な施設を厳選
 ・不特定多数の利用がある体育館
 ・不具合箇所が多く、割れが生じていたもの



8月19日

全国都道府県議会議員親善野球大会 長野大会

県営上田野球場で開かれた親善野球大会に参加し、我が埼玉県議会チームは、三重県議会チームに21対7の大差で何と5年ぶりの勝利を収めました。私は1期目の途中から現在に至るまでピッチャーを務めています。完投で勝利投手、打っては打率10割、久々の好成績でしたが、試合で打席に入ったのも5年ぶり、やっぱり野球は打たないと面白くないですね。真夏のこの大会何といっても体力勝負です。毎年衰えを感じつつ、日程に合わせたコンディショニングも結構大変です。写真の倍ほどもいる若いメンバーの奮起を期待します。会派を超えた一致団結、楽しかったなあ。PS.「目指せ1勝埼玉県」の横断幕と共に来援いただいた神尾県議と応援団の皆さんありがとうございました。



8月1日

少子・高齢福祉社会対策特別委員会 視察 北海道はまなす食品株式会社（北広島市）

重度者を含めた訓練・雇用を行うモデル施設を設置するという、当時の横路知事の公約に基づき平成5年に北海道が主導し、コープさっぽろなどが協力して始まったはまなす食品。現在も「目指せ！障がい者訓練・雇用北海道ー」スローガンを掲げ75名の内29名の障害者が元気に働いている。今後も、障害者の職域開発・能力開発の積極的な実施により、健常者との数の逆転を目指して行くとのこと、「頑張れ！はまなす食品」とエールを送りたい。



8月24日

防災ドローン飛行見学会に参加して来ました。

昨年の12月定例会の一般質問で、「近く開催されるラグビーワールドカップや東京オリンピック・パラリンピックなどに向けた警備力強化にドローンの活用を」と質させて頂いてから2度目の見学会でしたが、1度目の時より格段にクオリティが高くなっていました。今の状態で、災害発生時の避難誘導や要救護者の発見にかなりの成果を期待出来ると感じました。今後に向けて、更なる軽量化や飛行音の軽減

や飛行時間の長期化など課題も明確になったように思います。関係者の皆さんの努力に感謝すると共に今後の飛躍を期待しています。



9月17日

「拉致被害者救出 国民大集会」に参加して来ました。

横田めぐみさんが拉致されて40年、13歳の彼女は53歳になっているとのこと。今年、横田さんご夫婦は初めて国民大集会を欠席されました。被害者家族の皆さんの高齢化は最早待った無しの状況です。5人の皆さんが帰国されてからも既に15年が過ぎました。

たて続けに行われている北朝鮮のミサイル発射や核実験に動揺させられること無く、被害者の救出に注力して行かなければなりません。地方でも出来る事を出来るだけやらなければと考えます。



10月11日防犯のまちづくり街頭キャンペーン（浦和駅東口）